

# 患者様へ

## 「加齢黄斑変性に対する抗 VEGF(血管内皮増殖因子)薬治療効果の検討」 への御協力をお願い

当科では上記の臨床研究を行います。滲出型加齢黄斑変性は本邦での 50 歳以上の失明原因 4 位の疾患であり、また有病率は生活習慣の変化などに伴い欧米並みに増加しています。治療や予防の確立が急務であり、特に近年は血管内皮増殖因子(VEGF)を標的とした分子標的治療薬の有効性が認められ、市販化されています。しかし薬剤の使い分けや使用プロトコール、また光線力学療法(PDT)との併用効果など今後解決されなければいけない課題は多くあります。

当科では滲出型加齢黄斑変性に対する抗 VEGF 薬治療の成績を検討し、治療効果やリスク要因を解析することで、診断、治療に役立てるために上記研究を行います。

そのために以下に該当する方々の当科で行いました加齢黄斑変性関連のデータを匿名化の上、解析致します。該当する方で解析を希望されない方は申し出てください。その場合はデータ解析を致しません。なお研究終了後も本研究により得られたデータについては、匿名化の上保管致します。データ保存を希望されない方は申し出てください。その場合は患者個人を特定できない状態、かつ復元不可能な状態で、データを廃棄致します。

### 〈該当症例〉

2008 年 10 月から 2015 年 9 月の期間中に当科で滲出型加齢黄斑変性に対する抗 VEGF 薬治療を受けた方。

### 〈登録を希望されない方〉

外来担当医、もしくは以下に示す実施責任医師に御連絡ください。

公益財団法人 田附興風会 医学研究所 北野病院

眼科副部長 松宮 亘

〒530-8480 大阪府大阪市北区扇町2-4-20

06-6312-1221